

【マスカット・オブ・アレキサンドリア】



マスカット・オブ・アレキサンドリアは、エジプト原産でクレオパトラも食べたと言われ、世界的に人気の果物です。マスカットを含むぶどうには「ポリフェノール」が多く含まれ、体内に発生した活性酸素を取り除く効果があるといわれています。粒表面の白い粉は「果粉」と呼ばれ、自らが出すミネラル成分です。農薬ではありませんので、皮をむかずにそのまま食べるとよりおいしくいただけます。



健康は食にあり



『フルーツポンチ』

◎材料 (6人分)

マスカット・12粒、みかん缶・100g、スイカ・100g、りんご・4分の1玉、白玉粉・60g、木綿豆腐・4分の1丁、スキムミルク・大さじ1、シロップの材料A(砂糖・60g、水・1カップ)、ミント

◎作り方

①白玉粉に豆腐とスキムミルクを加え、よくかき混ぜて耳たぶ位の固さに練る ②①を適当な大きさに丸めて茹で、浮き上がったら水で冷やす ③鍋にAを入れシロップを作り、十分に冷ます ④マスカット、みかん(汁気をよく切る)、スイカ(スプーンでくり抜く)、りんご(イチヨウ切り)と白玉だんごを器に入れシロップを注ぎ、お好みでミントを飾る

※1人分のエネルギーは133kcalです。



取れたて果物



仮谷 真戌留 さん (福谷)

マスカット一筋40年、今ではビニールハウス15棟、約90本の木を栽培しています。収穫は5月から始まり9月中旬まで続きます。今ビニールハウスの中は、エメラルドグリーン美しいマスカットが沢山実っています。マスカットを栽培するのは子育てと同じです。それぞれの木には個性があって、性格や状態を見極めて、土を作ったり木の手入れをします。そして、粒の成長に合わせて間引き作業をしたり、粒がきれいに並ぶように一粒ずつ粒の向きを調整したりします。一房で最低6回は手をかけますよ。愛情をたっぷり注いで育てたマスカットです。さわやかな甘さと芳醇な香りは、きっと皆さんに喜んでもらえると思います。

B29の爆音聞きつ
蜻壺で母を呼びしよ
少年兵にて

蜻壺からの哀しき叫び

戦争と命。そして、終戦記念日に思う

蜻壺は、タコを捕獲す

るために、海に沈められ

る壺のことです。この短歌に詠われて

いる蜻壺とは何でしょうか。蜻壺の短

歌をあと3句紹介しましょう。

声ひそめ 聞こゆる距離の

蜻壺に 戦友確かめき 彼の戦の日

手だせば手 首出せば首

撃たれたる 蒙古草原 蜻壺の中

死に場所は 此処なるべしと

タコツボの 水掻き出き鉄帽をもて

この4句は以前、朝日新聞の岡山

歌壇に掲載されていました。第二次

世界大戦の末期、日本軍はアジア各

地で、絶望的な戦いをしていました。

蜻壺とは、草原に掘った縦穴に、兵

士1人が手榴弾を持って入り、敵の

戦車待ち受け、自爆することで戦

車の進軍を阻止する陸上の特攻兵の

隠れ穴のことです。

「私は、背の高いあの子がどんど

ん歩いていく背後から、息をはずま

せて懸命に行きました。：中

略：私は足をとめて、『お母さんはこ

こで見送るから、急ぎなさい』そう

いいますと、あの子は、私に敬礼し

て、『明日は、遠くへ飛んでいくかも

しれない』といって大股で、安倉駅

(千葉県)の方へ歩いていきました。

その軍服のうしろ姿が、おりから霧

のたちこめた桜並木のなかに、しだ

いにかすんで消えていきました。そ

れが、私とあの子の最後の訣別でし

た：」 「空の特攻兵の母の手記より」

短歌や手記が訴えるように、戦争

は、人の命の尊さを、無残にも踏み

つぶす狂気の世界を作ります。多く

の悲しい別れも伴います。そして、

時を経ると過去の出来事として忘れ

去られていきがちです。

現在も世界各地で紛争が続いてい

ます。8月15日の終戦記念日を機に、

私たちは、心新たに不戦の誓いをも

ち続けなければなりません。

※B29は当時のアメリカ空軍の戦略爆撃機

↓点線に沿って切り取ってください。(官製ハガキでも可)

人口

67,775人(うち外国人登録949人)
男32,817人 女34,958人
世帯数22,904世帯
(平成17年8月1日現在)

編集後記

■特集取材では、コスチューム姿で撮影。これって炎天下でサウナスーツを着ている感じ?吹出す汗。飼育員の苦勞をかいま見た。
■今月は、各地で開催されたイベントの取材に追われ、オーバーヒートぎみ。紙面の都合で全部は紹介できません。ごめんなさい。
■人事異動で、初めて広報編集スタッフに。慣れない作業にとまどいながらの毎日。皆さんに愛される広報紙を目指して頑張ります。

◎仲の良いご夫婦をお待ちしています
3月22日、総社・山手・清音は合併しました。合併は、まち同士が結婚するようなもの。この記念すべき年を皆さんと一緒に祝いたいと思います。3月22日以降に結婚したご夫婦、金婚式や銀婚式を迎えたご夫婦。広報そうじゃに登場してみませんか。編集室(企画課)までご一報ください。